

箱根町『分離型』一貫教育のはなし

5月6日に湯本幼児学園の5歳児と湯本小学校の2年生と一緒にさつまいもの苗を植えました。

子ども達は、初めのうちは緊張していたようですが、2年生が5歳児に苗の植え方を優しく丁寧に教えてあげていたため、すぐに打ち解けたようでした。

今後は、園児と児童が協力して水やりなどを行い、11月には、また一緒にさつまいもを収穫する予定であり、子ども達の成長とともに、さつまいもの生育も今から楽しみです。

町では、5歳児から小学校1年生までの活動をつなぐ「スタートプログラム」を作成し、5歳児のときに小学生との様々な交流を図っています。他にも絵本の読み聞かせや小学校1日体験入学など、各園と各小学校との様々な交流を行っています。

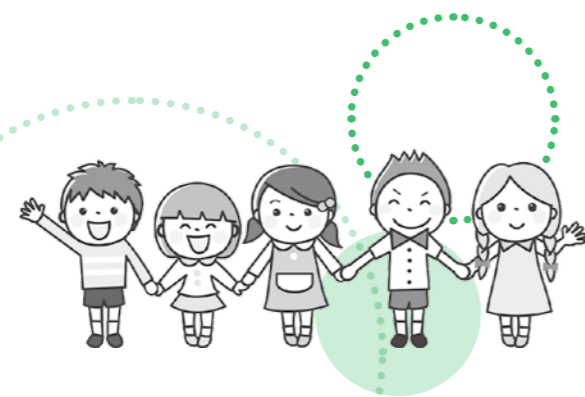
園児は、小学校に入学した後の自分の姿を具体的にイメージすることができ、円滑な小学校生活のスタートを切ることができます。また、小学生は、自分が役に立っていることを実感し、「自己有用感」を高めることにつながっています。

このような各園と小学校間の交流を通じて、「縦のつながり」が自然と育まれていくことも園・小・中一貫教育（分離型）の大事な取組の1つです。

湯本幼児学園5歳児と湯本小学校2年生との交流の様子



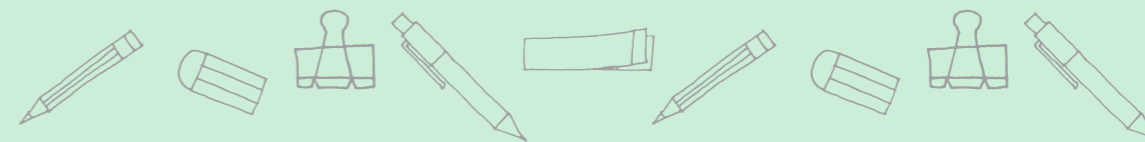
2年生（左側）と5歳児（右側）



園児に苗の植え方を教える児童

箱根土曜塾からのお知らせ No. 3

～本年度の「箱根土曜塾」の取り組み～



「通いやすい公営塾」+「受験に対応した進学塾」を目指して、8月から本年度の箱根土曜塾が始まります。今回は、本年度の主な取り組み（予定）を紹介します。

○チャレンジクラス

箱根土曜塾では毎年、習熟度別に5人前後のグループに分かれて学習しています。開始時は事前提出された「学習状況調査シート」の中の、学校の成績や定期テストの点数を基にグループ分けを行い、その後は実際の習熟度により入れ替えを行っています。

前年度からは、成績上位者と希望者（チャレンジしたい意欲のある人）で構成された「チャレンジクラス」を11月に開始しました。

本年度は9月から「チャレンジクラス」を開始する予定です。他グループよりも授業で実施する内容が多く、ハイレベルな問題や入試問題に触れ、宿題も出される予定です。

○学習内容の充実

本年度は、入試に向けた力を着実に身につけていけるよう、開講日当日に充実した内容を実施していくことを考えています。

まず、27回から増えた追加の3回分の開講日を有効活用します。（具体的な内容は、受講生の学力や苦手単元などから判断します。）

また、小テストの実施について、配付する英単語帳から出題するほか、毎回教科を変えることで飽きの来ない内容で行っていきます。

そして、希望者には全体授業終了後に、延長授業や質問タイムを設ける予定です。

○保護者向けサポートの充実

受講生向けの入試説明会のほかに保護者向けの説明会を実施し、後日WEB配信も行い、希望者からの個別の進路相談も受けていきます。

また、前年度は紙で配付していた「土曜塾だより」を、保護者がいつでも読むことができるメール配信に変更し、月1回程度配信していく予定です。

◆主な感染症対策

- ・職員・スタッフの健康チェック（検温・体調変化等）を徹底
- ・入室時には非接触体温計で検温、受講生の体調変化にも配慮
- ・前年度に引き続き、学習室を例年より多く確保し、分散して授業を実施
- ・扉や窓を2ヶ所以上開放して換気
- ・予備のマスク、除菌シート、ペーパータオル、ティッシュペーパーを常備

照会先 教育委員会学校教育課 ☎85-7600